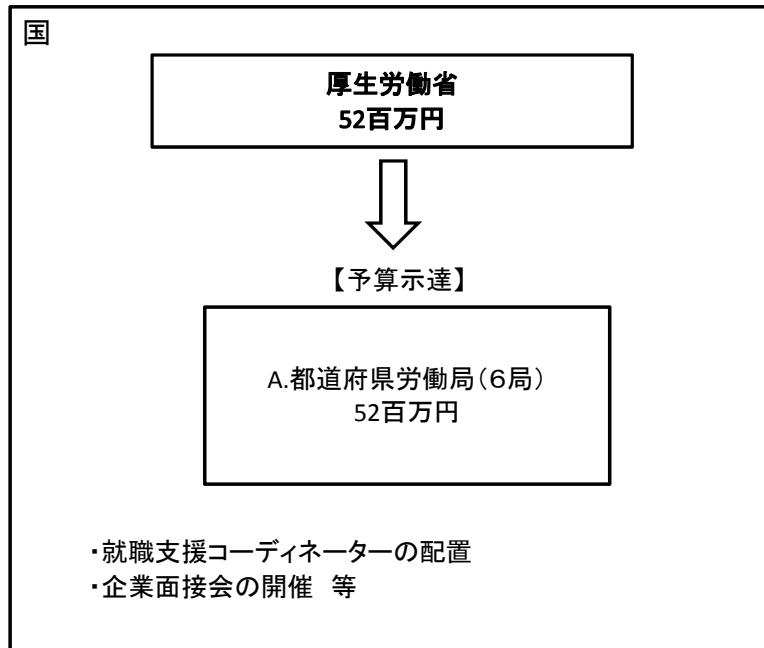


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)							
事業名	中小企業に対する専門・技術者の人材確保支援事業 (仮称)			担当部局庁	職業安定局	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	首席職業指導官室	首席職業指導官 浅野 浩美	
会計区分	労働保険特別会計雇用助定			政策・施策名	IV-1-1: 公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号			関係する計画、通知等	-		
主要政策・施策				主要経費	社会保障		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中小企業における人材確保がより困難である専門・技術者に関する人材確保の支援を強化し、中小企業の人材不足を解消する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	専門・技術者の人材確保が必要な中小企業が集積する地域の主要なハローワークにおいて、求人者ニーズに応じた求職者情報の提供、リクエスト紹介及び未充足求人へのフォローアップの徹底等の取組により、中小企業に対して専門・技術的職業の人材確保の支援を行う。						
実施方法	直接実施						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		当初予算	-	-	-	-	52
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計	0	0	0	0	52	
	執行額	-	-	-	-		
執行率 (%)	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度
	平成28年度の中小企業に対する専門・技術者の人材確保支援事業実施ハローワークにおける専門的・技術的職業の求人充足率を7.3%(暫定)以上にする	成果実績	%	-	-	-	
		目標値	%	-	-	-	7.3
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	中小企業に対する専門・技術者の人材確保支援事業実施ハローワークにおける専門的・技術的職業の新規求人数を指標として設定予定	活動実績	-	-	-		
		当初見込み	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/中小企業に対する専門・技術者の人材確保支援事業実施ハローワークにおける専門的・技術的職業の求人充足数を設定予定	単位当たりコスト	円	-	-	-	-
		計算式	百万円/人	-	-	-	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	諸謝金		39				
	委員等旅費		0				
	庁費		13				
	計	0	52				

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	専門的・技術的職業に従事していた者とその人材を求める中小企業等の人材確保が重要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	中小企業における人材確保の手段として、ハローワークは大きな役割を果たしており、人材確保がより困難である専門的・技術的職業は国が直接支援するべきと考える。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	近年、中小企業の人材不足は深刻化している状況であり、ハローワークにおいて、専門的・技術的職業の経験を有する人材の確保に向けた取組を強化し、中小企業の抱える人材不足の解消に向けた取組は重要であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1				-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					